

2021年度エコキャンパス・グリーンキャンパス推進実施計画

東京都立大学<荒川キャンパス>

【義務・目標】

【省エネ法】
努力目標

5年間平均のエネルギー消費原単位の年1%以上低減

【環境確保条例】
削減義務

—

1 環境負荷軽減

(1) 省資源・省エネルギー対策

ソフト対策

設備の効率的な運用

- ・建物管理委託業者と連携し、効率的に運用する。
(ボイラーの効率的な運用、不要な照明の消灯等)
- ・電気使用量データの記録・分析を行い、傾向を把握する。

照明の削減、中央空調の室温管理の徹底等

- ・消灯、個別空調の室温管理を周知徹底する。
- ・室温管理、適正温度（冷房28℃、暖房20℃）の周知徹底を図るとともに、良好な学習および研究環境を提供するため、天候等に応じた適切かつ柔軟な空調運用に努める。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、空調使用中も適切に換気を行うよう周知徹底する。

ハード対策

省エネ性の高い設備等への更新

- ・今後実施される施設工事又は補修工事の際に、省エネ効果の高い設備への更新を検討する。
(管理棟自動扉の更新、食堂に断熱や遮光を目的とした装備の配置等)

(2) 廃棄物・汚染物質処理の適正化

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

- ・リデュース：ペーパーレス化を推進する。
- ・リユース：再利用が可能な物品の斡旋を行う。
- ・リサイクル：廃棄物の分別を徹底する。

廃棄物等の処理に関する法令順守

- ・マニフェスト確認等による廃棄物の適正管理
- ・ゴミ排出ルールの周知徹底

2 環境教育・研究

環境への配慮、節電・省エネに係る教育・設備利用の推進

- ・教職員、学生に留まらず、当キャンパス利用者すべてに周知、協力を仰ぎ、環境に配慮した設備利用を促進する。

ペットボトルのキャップの回収活動を通じた取り組みの推進

- ・本取組がプラスチックごみの減少、世界規模での社会貢献(ワクチン寄付などのボランティア活動)に寄与していることについて、当キャンパスを利用するすべての人々に協力を仰ぎ、周知、定着させる。

放射性同位元素の安全・除染除去・環境放射線管理等の教育

- 放射性同位元素の取扱いに伴う安全性の確保、適切な除染作業および環境放射線の測定等の教育を行い、その実技を習得させる。

3 地域社会貢献

東京都、荒川区等との連携

- ・東京都、荒川区等主催のイベント開催時に協働を深めるとともに、地域住民等の当キャンパスを訪れる人々に気持ちよく利用してもらえるよう、グリーンキャンパスとしての整備を継続する。

教職員・学生、施設利用者によるボランティア活動

- ・教職員、学生に留まらず、当キャンパスを利用するすべての人々の協力を仰ぎ、ペットボトルキャップを利用した世界規模での社会貢献を推進する。

4 環境マネジメント

エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会荒川キャンパス部会の定期的な開催

- ・基本計画に掲げた目標を着実に達成するため、当該年度の実施計画に対する取組状況を確認する。